

令和5年度
みかど荘 事業報告書

介護老人福祉施設
短期入所生活介護事業
地域包括支援センター

1 はじめに

令和5年5月より新型コロナウイルスは、第5類へ移行し少しずつ規制が緩和され仕事や日常生活が元に戻りつつあります。但し未だに施設でクラスターや感染者の報告は少からずあります。

また最近では、はしかの流行が報告されさらなる注意が必要と思われます。継続的に職員の健康・衛生管理面に注意を求め利用者様の安全・安心に努めてまいります。

今後も法人としては、全職員に勤務中のマスク着用と自己健康管理に努めるよう指導してまいります。

今後も新型コロナのみならず、他の感染症などにも警戒し、施設経営に取り組んでまいります。

本年度の各事業報告を次ページ以降に取りまとめましたのでご報告致します。

2 介護サービス提供への取組み結果

(1) 特養・短期入所サービスの取組み報告

特養においては、最低目標の入所者 50 名にしておりましたが、顕在的な入所者の確保に苦慮しました。

①介護支援専門員・生活相談員としての報告

- 施設サービス提供の包括責任者として、ご利用者様及びご家族様からの苦情や相談があった場合、解決すべき問題を検証し、迅速に改善を図ります。
- ご利用者様並びにご家族様から希望・要望を聞き、施設介護サービス計画書へ反映させた。
- 施設サービス計画書作成後は遅滞なく、ご利用者様・ご家族様へ確認・承諾を受けました。
- 退院時や状態変化があった際には適宜見直しを行い、一人一人に適切なサービス提供がなされるよう努めました。
- ご利用者様・ご家族様への介護支援に関する様々な情報提供と介護保険関連や関係法令の情報提供に努め、ご利用者様とご家族様との信頼関係の構築に努めました。
- 施設職員からご利用者様に対するサービス情報を抽出し施設サービス計画書の質を高めました。
- 情報の伝達・共有を行える組織が構築できるよう努めました。
- 終末期のケアの質が高まるよう、ご家族様の意思を適宜確認しながらケアに努めました。

②介護職員としての報告

1 階フロアー

- 感染症予防に留意し消毒、清掃を実施しました。
- 対面面会を法人のルールに乗っ取り実施しました。
- 介護サービス計画書に基づき介護サービスを提供し利用者様が安心かつ快適に過ごせるように努めた。

2 階フロアー

- ご利用者様の尊敬の念を忘れずに快適な生活が送れるように努めました。
- ご利用者様の状態を日々観察し状態変化を見逃さぬように業務を行いました。
- 介護職員や他の職種との連携を密にとり業務を遂行しました。
- 感染症予防のため各種居室等の清掃、消毒を実施しました。
- 対面面会を法人のルールに乗っ取り実施しました。

③看護職員としての報告

- 適切な巡回のほか連絡・報告を受け、ご利用者様の状況を把握し異常の早期発見に努めました。
- 施設内でのインフルエンザやノロウイルス、新型コロナウイルスの感染防止に努めました。
- 新型コロナウイルスの感染防止対策のため、歯科回診は中止（緊急性のある場合を除く）としました。
- 内科回診を年間予定通り実施しました。
- 職員健診に際し、通院・再検査が必要な職員に対して指導を行いました。

《入所者健康管理年間報告》

- ・ 定期回診（内科） 毎週火曜日
- ・ 健康診断 入所時・随時
- ・ 採血 随時
- ・ 胸部レントゲン（年1回 5月実施）
- ・ 体重測定 毎月実施
- 検温 週2回入浴日 他随時実施
- ・ 血圧測定 週2回入浴日 他随時実施
- ・ インフルエンザ予防接種 11月実施
- 新型コロナワクチン接種 6月から3月にかけて2回実施

《職員健康管理年間報告》

- ・ 健康診断 全職員対象（採血・採尿・胸部レントゲン・血圧測定）12月実施
夜勤者対象（採血・採尿・血圧）5月実施
- ・ 給食職員細菌検査 毎月1回（夏季2回）提出
- ・ インフルエンザ予防接種 11月実施
- 新型コロナワクチン接種 7月から2月にかけて2回実施

④ 栄養士としての報告

- 身体や嚥下状況に応じ、個々に合った調理法の選択・食材のサイズの調節を介護主任や看護師と検討し提供しました。
- 嚥下能力を考慮したトロミ剤を使用し、誤嚥防止に努めました。
- ご利用様の食事摂取量や体重の推移を毎月把握し、食事量や食事形態を看護師、介護士と検討しました。
- 食事時にはミールラウンドを行い、ご利用者の食事状況や多職種の意見を聞き、より良い食事提供ができるように努めました。
- 年間行事での行事食の提供、季節の食材を取り入れることで、四季を体感できる食事を提供しました。
- 盛り付けや食器の使い分けにより、「目でも楽しめる食事」を目指し提供しました。

(2) 地域包括支援センターの取り組み報告

- 介護予防の取り組みとして、公園体操を地域の老人ホームやグループホームと協力し行いました。
- 野川いこいの家や南台団地での介護予防体操を再開し、定期的で開催しました。
- 野川西団地での介護予防体操を定期的で開催しました。
- 毎月地域住民や専門職と地域の課題について話し合う場をつくり、課題への対応などについて検討しました。

(3) 各種委員会・職員教育・研修報告

① 入所判定委員会

- 新規ご利用者様を決定する際、入所希望者の状態・緊急性・空き居室の状況・介護度・市の入所判定指針などを検討し入所の優先順位を決定しました。

- 要介護度 3 以上の方を優先的に案内し、地域に対しての貢献度を高めるよう努めました。
- 要介護度 1・2 の方でも入所の必要を認める際には、理由を明確にし、記録として保管しました。

②行事委員会

- 季節の行事には行事食を提供しました。提供する食事にカードや箸袋を添え、見た目にも楽しんで頂けるようにしました。
- 毎月 1 回、誕生日の特別食の提供をしました。
- コロナウィルス感染予防の為、各フロアでのレクレーション等の実施をしました。

③苦情処理委員会

- ご利用者様、ご家族様等から出た苦情申し立てについて、施設長を中心に施設内で十分な調査、検証を行い十分な説明と改善を図り、サービス提供の在り方・顧客満足度向上につながるサービスの検討を行い、再発を防止するための対応を行います。

④ケアプラン作成委員会

- 個々のご利用者様が最大限の能力を発揮し自立した生活が送れるよう日常の問題を抽出し、解決に向けた取り組みをわかりやすく具体的に示しました。
- 現場職員とよりよい連携が図れるよう日ごろから連絡と相談を密に行いました。
- ご利用者様の状態変化に対し速やかな施設サービス計画書変更を行い、ご家族様へ同意を頂きました。

⑤給食委員会

- 他職種の職員と連携を図り、個々の状態を把握しながら食事形態や食事内容について検討を行いました。また、利用者様に安心して食べて頂けるように電解水を活用し、衛生面の徹底や、トロミ剤の質の向上に努めました。

⑥研修委員会

- 事故防止・褥瘡予防・感染症予防の研修に関しては年 2 回、各異なる資料を新規に作成し実施、研修内容に対し考察を深めました。
- 本年度より対面での研修を再開し、事例検討などを研修中、または後日報告書と共に提出という形にて実施致しました。
また認知症研修に関しては、研修資料を作成し年間予定表以外の研修として開催しました。
- 新人職員に介護主任を中心にして介護業務、知識、情報を入職時研修として指導を行い、その後も評価シートを作成し期間を設け評価指導を実施致しました。

⑦排泄・補水委員会

- 介護職員と看護職員で連携、日々のモニタリングを通しご入居者様への適切な食事形態、トロミ量の提供に努めました。新規利用者様に関して、モニタリングし、必要時は早期に排泄及び食事形態の変更を行いました。
- ご入居者様ごとに排泄状況、形態の把握に努め、排泄状況を職員間で情報を共有し、

定期的に見直しを行い、その方に合ったオムツサイズやパッドの見極めに努めました。

- ご入居者様の ADL や日々の変化を把握し介護職員と看護職員で連携し、サービス提供の一定化を目指しました。

⑧業務委員会

- 利用者様ひとりひとりの状態にあわせて適切な方法で快適に入浴をできるように努めました。
- 他の委員会や職種と連携をとりながら円滑な業務が行えるような業務体系確立を目指しました。
- 居室担当業務を全体のバランスを見ながら調整しました。

⑨事故防止委員会

- 事故が起きやすい時間帯や場所や事故原因を考察し、主任、委員会を中心に事故防止策を立案、実施に努めました。
- 研修委員と連携を図り、年 2 回以上と職員入社時に事故防止研修と事故報告書や 4M 分析の書き方及びリスクマネジメントに関する研修を実施しました。

⑩身体拘束廃止委員会

- やむを得ず身体拘束を行う場合は、ご利用者様、ご家族様、職員に身体拘束に関する説明を行い、身体拘束に関する理解を深め、手順を踏んで対応しました。
- 年 2 回の研修を行い、身体拘束の基本、施設内で実施している身体拘束の内容に沿った演習も行い、職員からの新たな提案を受けられるよう研修を実施しました。
- やむを得ず身体拘束を行っているご利用者様の日々のモニタリングを基に切迫性、非代替性、一時性の 3 要件を満たしているかのカンファレンスを行い拘束の要否を多職種連携し考案するよう努めました。

⑪感染症予防委員会

- 感染症対策を日頃より実施していた結果、ご利用者様のインフルエンザ発症はありませんでした。職員の感染はあるも感染拡大には繋がりませんでした。施設内での新型コロナウイルスの発症は入所者及び職員に 7 月中旬から 8 月上旬にかけて大規模な発症があり。マニュアルに沿った施設内外での対応を経て、長期化することなく収束。その後は職員及びその家族には発症者があるも感染拡大せず。発症後の入所者様、職員に後遺症等は残りませんでした。
- 新型コロナウイルスへの対策等も医務と連携し対策資料を作成し全職員を対象に周知を行い、意識向上と対策に努めました。
- 新型コロナウイルスへの対策として、抗原検査を適宜実施し、感染防止に努めました。
- 新型コロナウイルスへの対策として、感染者、濃厚接触者への出勤制限、出勤後の簡易検査を実施し、陰性であることを確認してからの勤務とし、感染拡大防止に努めました。

⑫環境整備委員会

- 職員の館内清掃への意識を高め、館内清掃に努めました。

⑬口腔ケア委員会

- 入所者様毎に、残存能力に沿った個別性のある口腔ケアの実施に取り組みました。
- 施設内研修を実施し口腔ケアの知識や技術を向上させるように努めました。
- 新入職員に業務や研修を通して口腔ケアの知識、技術向上を行いました。
- 義歯の不具合等発生時、看護師と連携し、必要時に歯科往診で対応しました。

⑭医療ケア委員会

- 入居者様のモニタリング、評価を適宜行い、個別に吸引・経管栄養ケアプランを看護師と連携し実施しました。
- 研修を通して職員全体の看取りの利用者様への対応や知識を向上させるようにしました。

⑮衛生委員会

- 職員の健康障害を防止する為の対策を調査審議し、心身の健康に関する啓発に努めました。

⑯褥瘡予防委員会

- 入所時、褥瘡対策に関するスクリーニング・ケア計画書を作成しました。
計画書に基づき実施した結果、新たに1名の入居者に褥瘡発生発見し、適切な処置を継続しています。他入居者の褥瘡発生は見られません。
- 褥瘡発生時は嘱託医と連携を図りながら早期治癒に向けて取り組みました。

⑰安全委員会

- 喀痰吸引等業務の実実施計画や実施状況の管理を行いました。
- 介護職員による喀痰吸引等業務が安全に実施されるように取り組むことで、喀痰吸引等実施時の事故の発生はありませんでした。

⑱見守り機器を安全かつ有効に活用する委員会

- 介護主任、委員会とで協議した内容を元に毎月見守り機器使用の分析、モニタリングを実施致しました。
- 新入所の利用者さんの行動や転倒リスクを速やかに分析しセンサー必要かを見極めました。

⑲施設外研修報告

今年度は、ありませんでした。

(4) 意見・要望・苦情に対する対応報告

ご利用者様、ご家族様からの、意見、要望、苦情について、それらの情報を関係職員に周知させると共に、施設長、各部署の責任者を中心にそれらの原因・対策を検討し、再発防止に努めました。

また引き続き投書箱を設置し、忌憚のない意見を聴取できる環境を整備しましたが、投書での苦情等はありませんでした。

また、契約時に施設の苦情担当職員と公的機関の案内も行いました。

(5) 安全管理について

①事故防止への取組みと事故発生時の報告体制

ご利用者様に関する事故については、ご家族様への通報を優先し、嘱託医の助言等を勘案して関係職員には病院への緊急搬送など、取るべき行動を指示しました。

災害（火事・震災）発生を想定した訓練、消防設備の取扱いについて指導しました。防災訓練は年1回実施しました。

②発生した事故の内容、件数、対応状況

(事故件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故件数	4	3	3	2	1	3	3	1	1	1	2	5	29
ヒヤリ・ハット報告	0	2	1	0	1	0	0	1	1	3	2	0	11
うち医療機関受診案件	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

(7) 地域交流（ボランティア受入れ等）の状況報告

本年度は、ボランティアの受け入れを中止しました。

3 事業実績等

(1) 特別養護老人ホーム事業

①利用状況 ※在籍者数（入院等不在者を含む。）

ア 年齢構成別利用者数（各月末日現在）

（単位：人）

	～70歳	71歳 ～75歳	76歳 ～80歳	81歳 ～85歳	86歳 ～90歳	91歳 ～95歳	96歳 ～	合計
4月	0	2	3	13	10	6	4	38
5月	0	2	3	13	9	6	4	37
6月	0	2	3	13	10	7	5	40
7月	0	2	4	12	8	9	3	38
8月	0	2	4	12	8	7	2	35
9月	0	2	4	11	8	7	2	34
10月	0	2	5	9	8	7	2	33
11月	0	2	4	9	8	7	2	32
12月	0	2	5	9	8	7	1	32
1月	0	2	5	10	8	8	1	34
2月	0	1	7	10	7	9	1	35
3月	0	1	6	10	7	8	1	33
合計	0	22	53	131	99	88	28	421

イ 介護度別利用者数（各月末日現在） （単位：人）

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	0	3	13	16	6	38
5月	0	3	14	16	4	37
6月	0	3	13	18	6	40
7月	0	3	13	18	4	38
8月	0	2	12	16	5	35
9月	0	2	12	15	5	34
10月	0	1	12	16	4	33
11月	1	1	10	16	4	32
12月	1	1	11	15	4	32
1月	1	2	12	15	4	34
2月	1	3	13	14	4	35
3月	1	3	13	13	3	33
合計	5	27	148	188	53	421

ウ 地域別利用者数（令和4年3月31日現在の在籍者数） （単位：人）

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市内合計
3	0	2	5	20	0	0	30

横浜市	稲城市	姫路市		市外合計
1	1	1	0	3

エのうち「やむを得ない理由による」実施機関別被措置者数
 (平成29年3月31日現在の在籍者数)

(単位：人)

川崎区	大師地区	田島地区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区
0	0	0	0	0	0	0	0
麻生区	市内合計			横浜市	その他県内	東京都内	市外合計
0	0			0	0	0	0

②行事等の実施状況

	行事等の内容(実施日)
4月	花まつり
5月	端午の節句
6月	開荘記念日
7月	七夕、土用の丑の日
8月	お盆、終戦記念日
9月	重陽の節句、敬老の日、彼岸入り、お中日、彼岸明け、十五夜
10月	十三夜、ハロウィン
11月	紅葉の会
12月	冬至、師走の会、年越しの会、クリスマス
1月	元旦、新年祝賀会、七草
2月	節分、初午、バレンタインデー
3月	ひな祭り、ホワイトデー、彼岸入り、お中日、彼岸明け

(2)短期入所事業

①利用状況 ※延べ利用者数 (延べ利用日数)

ア 年齢構成別利用者数

(単位：人)

	～ 70歳	71歳 ～75歳	76歳 ～80歳	81歳 ～85歳	86歳 ～90歳	91歳 ～95歳	96歳 ～	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 介護度別利用者数

(単位：人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 地域別利用者数 (年度内延べ利用者数)

(単位：人)

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市内合計
0	0	0	0	3	0	0	0

横浜市	その他県内	東京都内	その他	市外合計
0	0	0	0	0

(3) 地域包括支援センター事業

①利用状況 ※「地域包括支援センター業務実績報告書」に基づく

ア 相談件数

(単位:件)

相談者	本人	家族 親族	民生 委員	地域 住民	ケア マネ ジャー	サービ ス事 業所	医療 機関	区役所	その他	合計
4月	30	31	2	0	20	14	8	7	6	118
5月	39	54	2	5	26	12	7	3	8	156
6月	50	47	2	2	29	17	10	4	4	165
7月	45	37	1	3	18	12	6	3	4	129
8月	40	53	0	2	29	9	15	6	4	158
9月	47	49	1	1	18	13	8	9	2	148
10月	45	47	1	2	21	15	11	5	3	150
11月	42	54	3	2	14	18	20	8	0	161
12月	30	34	1	1	19	11	11	12	2	121
1月	46	57	1	1	23	6	10	2	1	147
2月	33	53	1	5	31	18	19	9	4	173
3月	56	58	4	2	36	14	16	8	4	198
合計	503	574	19	26	284	159	141	76	42	1,824

イ 相談内容（複数回答有）

（単位：件）

	介護 保険	高齢者 福祉	権利 擁護	医療 相談	安否 関連	生活支 援・そ の他	合計
4月	70	14	7	12	1	35	139
5月	113	17	4	17	2	61	214
6月	91	16	5	15	3	65	195
7月	66	15	11	9	1	55	157
8月	105	22	8	17	1	61	214
9月	94	18	6	10	2	62	192
10月	88	8	2	22	2	53	175
11月	107	21	5	20	3	52	208
12月	45	16	4	11	4	59	158
1月	95	21	8	13	3	57	197
2月	114	22	9	14	6	57	222
3月	126	16	15	18	9	78	260
合計	1,114	206	84	178	37	695	2,331

ウ 給付管理件数

(単位：件)

	給付管理件数		
	直営	委託	合計
4月	75	112	187
5月	74	121	195
6月	76	120	196
7月	71	124	195
8月	75	124	199
9月	78	119	197
10月	74	119	193
11月	78	123	201
12月	90	121	211
1月	91	129	220
2月	86	128	214
3月	87	121	208
合計	955	1,461	2,416

4 まとめ

本年度は、新型コロナが緩和されこれからといった矢先 7 月末に新型コロナでクラスターになり苦勞しました。幸いにも利用者・職員の感染者は軽症で済み、これが警戒中であったならば、大変苦勞したことが想像できます。

いつどこから持ち込まれたか不明で、今後も新型コロナを始め他の感染予防としてマスク着用・手指消毒を継続し、ご利用者様の安心安全を優先し業務にあたってまいります。

また、利用稼働率を上げるための努力と人材確保の二面であることに最重要課題と捉え努力してまいります。

令和 6 年度は、介護保険改正が予定されており加算や法改正に迅速に対応し加算の取得や対応に努めてまいります。